

成瀬についての話題を提供する「きめたハウジング NEWS Paper」。今回は成瀬の歴史について取り上げました。

「成瀬」はなぜ「なるせ」？

●「成瀬」の地名の由来

平成 20 年 9 月 23 日に JR 横浜線は開業 100 周年を迎えました。「成瀬駅」は昭和 54 年に開業し、来年の 4 月 1 日で 30 周年を迎えます。当社きめたハウジングも来年に同じく 30 周年を迎えます。

ところで、皆様は「成瀬」の地名の由来をご存知でしょうか？もちろん知っている、という方もいらっしゃると思いますが、しばしお付き合いください。

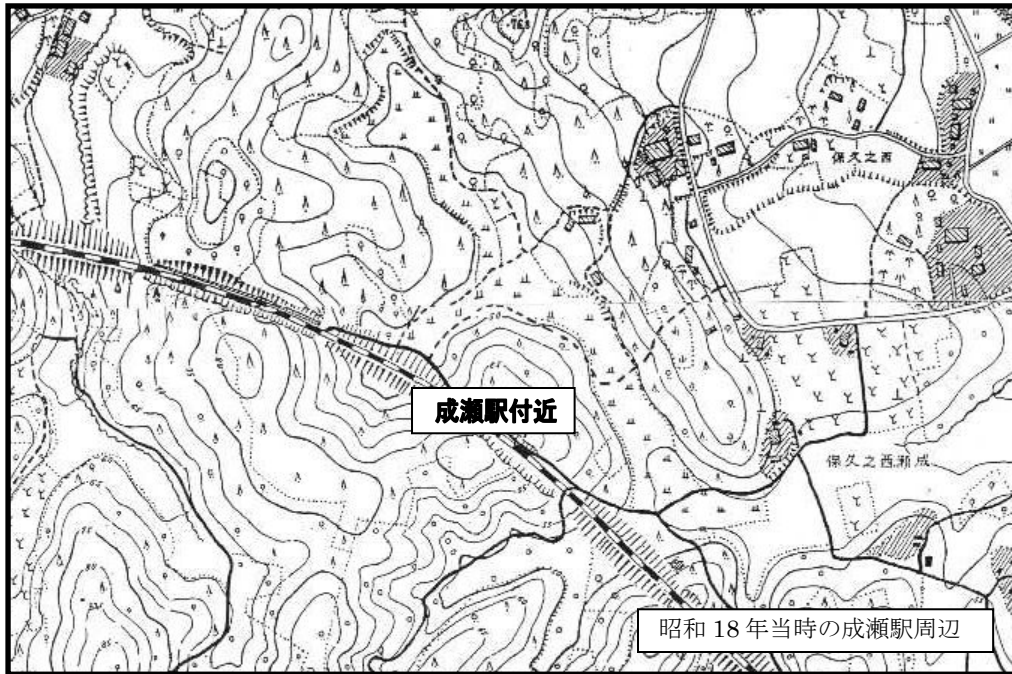
町田図書館所蔵の地名辞典を調べると、「恩田川の瀬音が鳴り響くことに由来する」とも「中世の武蔵七党横山党の鳴瀬四郎太郎が成瀬に居住したことから」ともいわれています。ちなみに、この鳴瀬四郎太郎と同族である藍原孝遠・小山経孝・野部義兼・山崎兼光がそれぞれ町田市の相原・小山・矢部・山崎を本拠にしていたとみられているそうです。いずれにしてもかなり昔から「なるせ」と呼ばれていたようです。



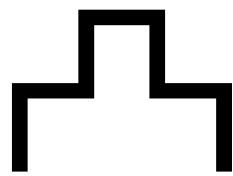
●成瀬には遺跡がいっぱい

成瀬周辺にはかなり昔から人が住んでいたようで、調べて見ると高ヶ坂の石器時代遺跡のみならず、成瀬台の御嶽堂遺跡や成瀬西遺跡、昭和薬科大学敷地内や東雲寺にも遺跡があるそうです。

また、現在東急電鉄の長津田車庫があるあたりには「なすな原遺跡」と呼ば



れる旧石器時代から平安時代にかけての大規模な複合遺跡見つかっています。



●約 60 年前の成瀬

上に掲載しています地図は昭和 18 年に作成された地図です。ここに掲載していますのは一部ですが、戦時中に作られた地図であるためか、地図の欄外には「極秘」と記載されています。この地図を見ると現在の成瀬駅周辺には針葉樹林や果樹園はあれど、全くといっていいほど何もない場所でした。それもそのはず、横浜線は元々恩田川の近くに敷設される計画だったものが、田畑に影響することから山村地帯に変更になったからだそうです。

この地図を見ていると、私も知らなかったことがたくさんありました。杉山神社が成瀬高校付近にあったこと。成瀬センターには昔の尋常小学校があったこと、こどもの国線が貨物線としてすみよし台方面に分岐していたことなど。

ちなみに弊社きめたハウジングも現在の元々プラザ成瀬内にあったわけではなく、ビックヨーサンの隣にありまし

た。もし上記地図にご興味ございましたら、きめたハウジングにございますので、お気軽にお立ち寄りください。



きめたハウジング創業地

●「木目田」姓は昔からたくさん成瀬にいました

成瀬の地名の由来は記載いたしまし



たが、「きめたハウジング」の名前の由来はご存知でしょうか？社長が木目田姓だからです。

昭和 60 年発行の郷土史「成瀬」によりますと、慶長 3 年（1598 年）に作成された記録にも木目田の姓が記載されているようです。また、延享 2 年（1745 年）作成の資料や明治 10 年（1877 年）作成の資料に記載されている成瀬の苗字は木目田が一番多かったようです。

●成瀬のことを是非教えてください

今回は成瀬の歴史について触れさせていただきましたが、私も今回初めて調べたもので、まだまだ知らないことがたくさんあります。もしよろしければ皆様にご存知のことを今後いろいろとご教示いただきたいと思います。今後ともきめたハウジングをよろしくお願い申し上げます。

不動産のことなら
きめたハウジングへ何でもご相談ください

角川書店発行「YOKOHAMA WALKER」に成瀬が特集されました！ きめたハウジングも少しだけ載っています！

「YOKOHAMA WALKER」9/30 号に「成瀬」が 3 ページ特集されました。ラーメン屋さんやケーキ屋さんなどの内容が多かったですが、弊社賃貸部課長・沖村幸男の成瀬についてのコメント「治安がよくて環境充実。リピーターが多いです」が掲載されました。雑誌はきめたハウジングカウンターに置いておりますので、お近くにお立ち寄りの際には一度ご覧になってみてください。

